

## オーストラリア北西大陸棚フィヌケイン・サウス (Finucane South)油田の商業生産開始について

当社(社長:平井 茂雄)が100%出資する豪州法人 JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd(以下、「JX NOEX Australia」)は、オーストラリア北西大陸棚海域のWA-54-L 鉱区(西オーストラリア州・ダンピア沖 150Km)に位置するフィヌケイン・サウス油田において、5月16日、原油の商業生産を開始しましたので、お知らせいたします。

JX NOEX Australiaは、本油田の他の権益保有者であるSantos社(オペレーター)およびKufpec Perth社とともに、2012年1月の開発移行決定以降、生産井2坑の掘削および隣接するムティニア・エクセター(Mutineer-Exeter)油田の既存生産設備(FPSO(※))への繋ぎこみ作業を進めてまいりましたが、この度、当初予定よりも2ヵ月程度早く工事が完了し、生産開始に至りました。

当初12ヵ月間の原油の平均生産量は日量約10,700バレルを見込んでおります。

今回の商業生産開始により、生産設備を共用するムティニア・エクセター油田(JX NOEX Australiaが権益を保有)の生産コストが低減するため、同油田の生産期間も4年程度延ばすことができる見込みです。また、今後WA-54-L 鉱区内のヴァヌアツ(Vanuatu)構造に対し試掘を予定しており、商業規模の原油が発見され、開発に移行する場合には、同様に生産設備を共用することにより、さらなる一体開発のメリットが見込まれます。

当社は、オーストラリア北西大陸棚海域において、石油・天然ガスの開発案件を積極的に推進しており、今後も同地域における事業の着実な拡大に向けて、一層の努力を続けてまいります。

※FPSO(Floating Production, Storage and Offloading system): 洋上石油生産貯蔵積出設備

以上

## 1. JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd (※) の概要

- (1) 本社：オーストラリア連邦・西オーストラリア州・パース市
- (2) Managing Director：飯田 信康
- (3) 資本金：34,809 千豪ドル（2013年4月1日現在、当社100%出資）
- (4) 設立：1997年4月  
※2011年10月、Nippon Oil Exploration (Dampier) Pty Ltdより社名変更

## 2. フィヌケイン・サウス油田の概要

- (1) 所在エリア：オーストラリア北西大陸棚
- (2) 鉱区名：WA-54-L
- (3) 権益比率：Santos Ltd (37.5%)  
Kufpec Perth Pty Ltd (37.5%)  
JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd (25.0%)
- (4) オペレーター：Santos Ltd

### <参考>ムティニア・エクセター油田の概要

- (1) 所在エリア：オーストラリア北西大陸棚
- (2) 鉱区名：WA-26-L, WA-27-L
- (3) 権益比率：Santos Ltd (41.6%)  
Kufpec Australia Pty Ltd (33.4%)  
JX Nippon Oil & Gas Exploration (Australia) Pty Ltd (25.0%)
- (4) オペレーター：Santos Ltd
- (5) 当社販売数量：日量約1,200バレル（2012年1-12月）

## フィヌケイン・サウス油田位置

